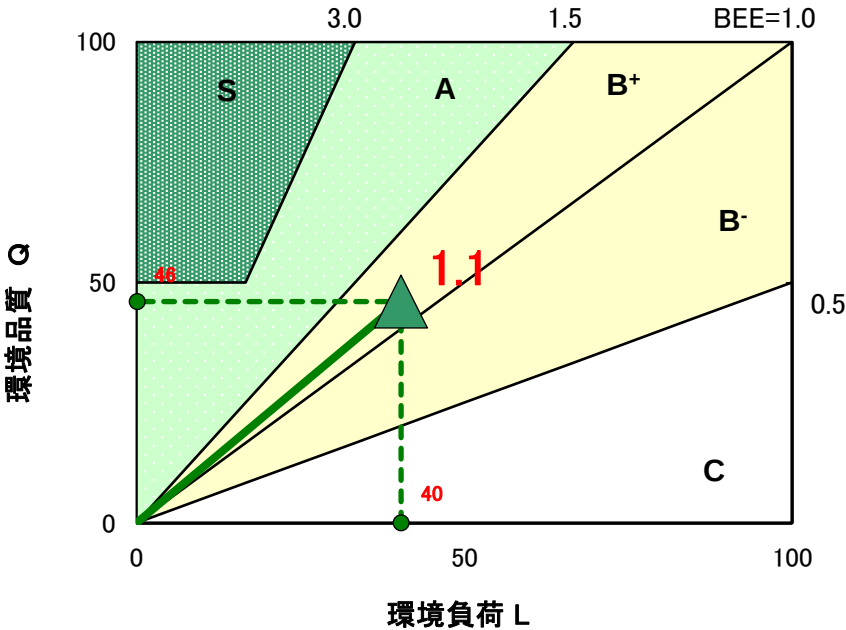


CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	(仮称)レクシア国府 新築工事	階数	地上15F	 ください。	
建設地	熊本県熊本市中央区国府2丁目351	構造	RC造		
用途地域	第二種中高層住居専用地域	平均居住人員	252 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年		
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2021年6月 予定	評価の実施日	2019年8月5日		
敷地面積	2,332 m ²	作成者			
建築面積	818 m ²	確認日			
延床面積	4,940 m ²	確認者			

1 CASBEE評価結果																																																
■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)																																																
		BEE = 1.1 ■BEE(環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$																																														
		■環境効率評価基準 <table><tr><th rowspan="2">ランク</th><th rowspan="2">ランク表示</th><th rowspan="2">評価</th><th colspan="2">判定値</th></tr><tr><th>BEE値</th><th>Q値</th></tr><tr><td>S</td><td>★★★★★</td><td>素晴らしい</td><td>3.0以上</td><td>50以上</td></tr><tr><td>A</td><td>★★★★★</td><td>大変良い</td><td>1.5以上3.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁺</td><td>★★★★</td><td>良い</td><td>1.0以上1.5未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁻</td><td>★★★</td><td>やや劣る</td><td>0.5以上1.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>C</td><td>★</td><td>劣る</td><td>0.5未満</td><td>—</td></tr></table> ■ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準 <table><tr><th>判定値(排出率)</th><th>ランク表示</th></tr><tr><td>30%以下</td><td>☆☆☆☆☆</td></tr><tr><td>30%超60%以下</td><td>☆☆☆☆</td></tr><tr><td>60%超80%以下</td><td>☆☆☆</td></tr><tr><td>80%超100%以下</td><td>☆☆</td></tr><tr><td>100%超</td><td>☆</td></tr></table>			ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る	0.5未満	—	判定値(排出率)	ランク表示	30%以下	☆☆☆☆☆	30%超60%以下	☆☆☆☆	60%超80%以下	☆☆☆	80%超100%以下	☆☆	100%超	☆
ランク	ランク表示	評価	判定値																																													
			BEE値	Q値																																												
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																																												
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																																												
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																																												
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																																												
C	★	劣る	0.5未満	—																																												
判定値(排出率)	ランク表示																																															
30%以下	☆☆☆☆☆																																															
30%超60%以下	☆☆☆☆																																															
60%超80%以下	☆☆☆																																															
80%超100%以下	☆☆																																															
100%超	☆																																															
■ ライフサイクルCO ₂ 排出性能(ランク表示)		排出率																																														
		77%																																														

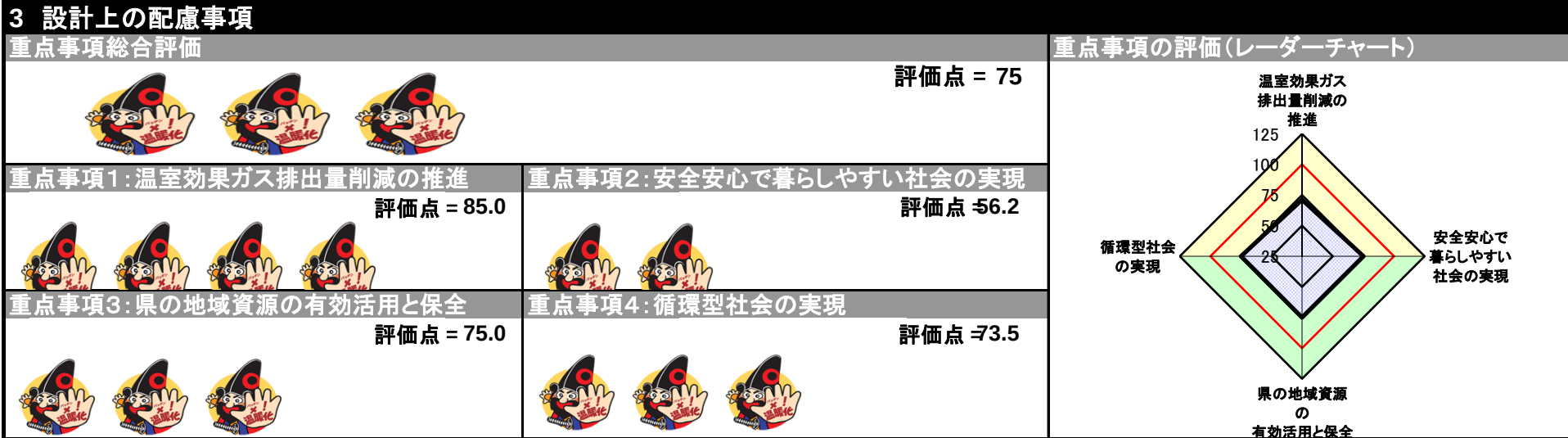
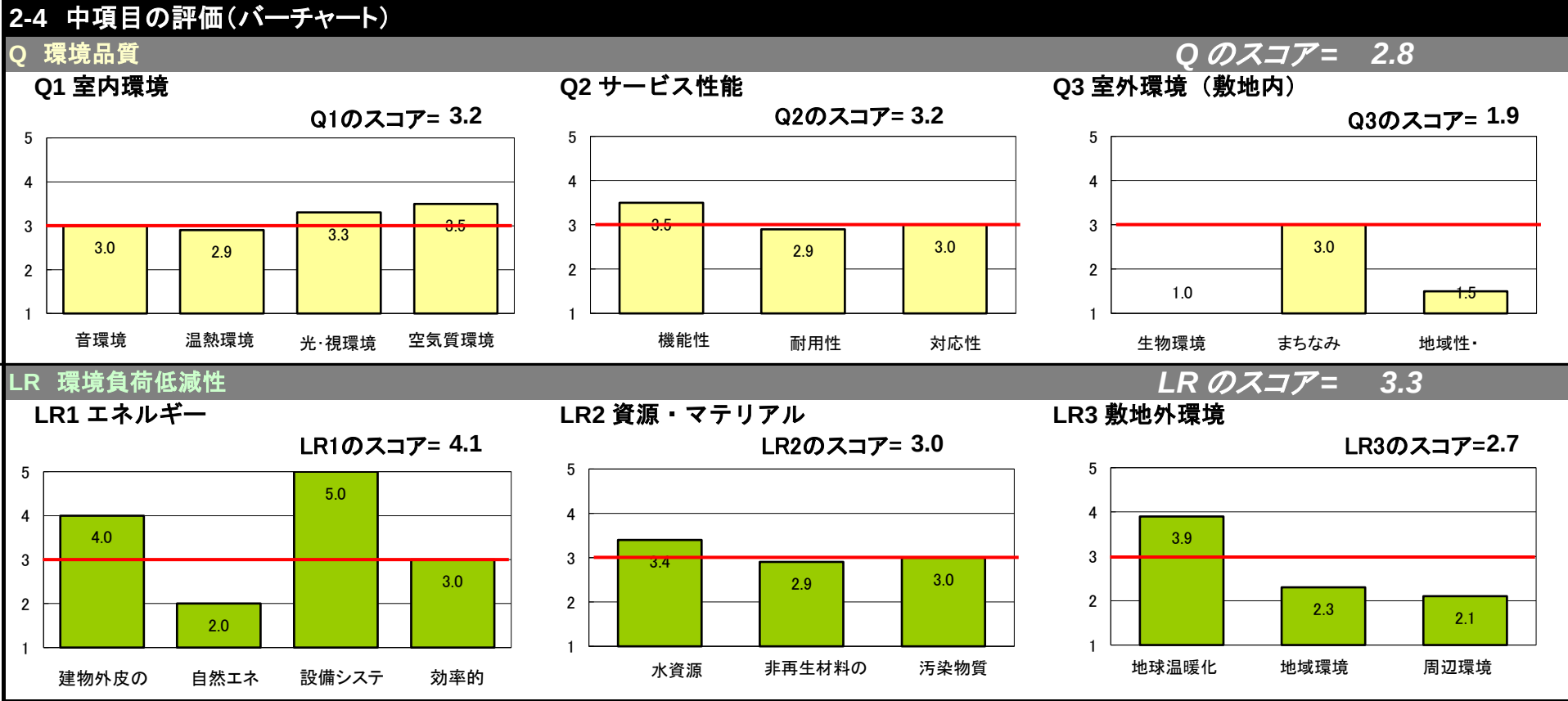
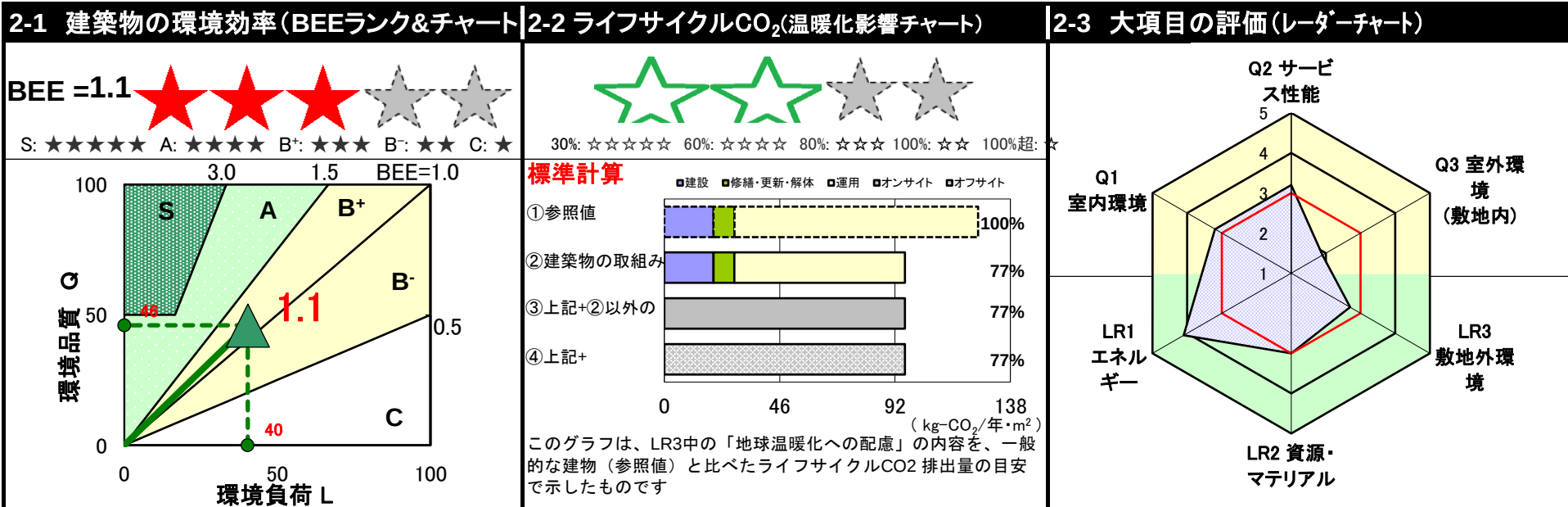
2 熊本県重点評価結果				
■ 重点事項総合評価				評価点
				75
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進		評価点	■熊本県重点評価基準	
		85.0	判定値(評価点)	ランク表示
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現		56.2	100点以上	
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全		75.0	80点以上100点未満	
【重点事項4】 循環型社会の実現		73.5	60点以上80点未満	
			40点以上60点未満	
			40点未満	
※評価点は、100点以上が推奨です。				

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)レクシア国府 新築工事	階数		
建設地	熊本県熊本市中央区国府2丁目351	構造		
用途地域	第二種中高層住居専用地域	平均居住人員		
地域区分	6地域	年間使用時間		
建物用途	集合住宅	評価の段階		
竣工年	2021年6月 予定	評価の実施日		
敷地面積	2,332 m ²	作成者		
建築面積	818 m ²	確認日		
延床面積	4,940 m ²	確認者		



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)レクシア国府 新築工事■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質									2.8
Q1 室内環境						0.40		-	3.2
1 音環境					3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル					3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音					3.0	0.50	3.0	0.50	
1			開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
2			界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30	
3			界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
4			界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音					-	-	-	-	
2 温熱環境					1.6	0.35	3.1	1.00	2.9
2.1 室温制御					2.2	0.50	4.0	0.71	
1			室温		3.0	0.63	-	-	
2			外皮性能		1.0	0.38	4.0	1.00	
3			ゾーン別制御性		-	-	-	-	
2.2 湿度制御					1.0	0.20	1.0	0.29	
2.3 空調方式					1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境					2.3	0.25	3.5	1.00	3.3
3.1 昼光利用					1.8	0.30	4.0	0.50	
1			昼光率		1.0	0.60	5.0	0.50	
2			方位別開口		-	-	3.0	0.30	
3			昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策					2.0	0.30	3.0	0.50	
1			昼光制御		2.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度					3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御					3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境					3.0	0.25	3.6	1.00	3.5
4.1 発生源対策					3.0	0.60	4.0	0.63	
1			化学汚染物質		3.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気					3.0	0.40	3.0	0.38	
1			換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2			自然換気性能		-	-	3.0	0.33	
3			取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理					-	-	-	-	
1			CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2			喫煙の制御		-	-	-	-	
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.2
1 機能性					2.2	0.40	3.8	1.00	3.5
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	5.0	0.60	
1			広さ・収納性		-	-	-	-	
2			高度情報通信設備対応		-	-	5.0	1.00	
3			バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性					1.0	0.30	2.0	0.40	
1			広さ感・景観		-	-	3.0	0.50	
2			リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3			内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理					2.5	0.30	-	-	
1			維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2			維持管理用機能の確保		2.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性					2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振					3.0	0.50	-	-	
1			耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2			免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	0.30	-	-	
1			躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2			外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3			主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4			空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5			空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.20	-	-	
6			主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性					2.8	0.20	-	-	
1			空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2			給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3			電気設備		3.0	0.20	-	-	
4			機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5			通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			2.8	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			-	-	3.2	0.50	
1	階高のゆとり	階高2.92m	-	-	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.8	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		2.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.9
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30	-	-	1.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		1.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.1
1	建物外皮の熱負荷抑制	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4に相	4.0	0.20	-	-	4.0
2	自然エネルギー利用		2.0	0.10	-	-	2.0
3	設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.82	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水	節水型便器	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.9	0.60	-	-	2.9
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	居室床下地にパーティクルボードを使用	3.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み		3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.7
1 地球温暖化への配慮		標準計算による	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮			2.3	0.33	-	-	2.3
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.3	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.1	0.33	-	-	2.1
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		1.6	0.40	-	-	
1	風害の抑制		1.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		1.6	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

空気住環境、機能的な空間作り、敷地内環境、省エネルギー、敷地外環境への配慮にそれぞれ取り組んでおり、低炭素社会の実現に努めている。

Q1 室内環境

全戸サッシは複層ガラスを使用、外壁は断熱材を吹付けた防露壁とした。またシックハウス対策はF☆☆☆☆材料を採用した。

Q2 サービス性能

共用廊下・住戸内床は段差をなくし、バリアフリーに対処した。

Q3 室外環境（敷地内）

周辺に配慮した建物高さ、配置を行っている。また敷地内の緑化に配慮した。

LR1 エネルギー

共用部・住戸内とも主要な照明はLED照明を採用した。また給湯器を潜熱回収型を採用することで省エネルギーに配慮した。

LR2 資源・マテリアル

流し台等の水栓は節水コマ等を採用し、便器も節水型とし水資源に配慮した。

LR3 敷地外環境

隣接建物よりセットバックさせて建物配置することによって、圧迫感を与えないようにした。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (仮称)レクシア国府 新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		75
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				85	0.40	34.00
Q1-2.1.2	外皮性能	1.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	2.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	4.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	2.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	5.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	3.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				56.2	0.20	11.24
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	1.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				75	0.20	15.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				73.5	0.20	14.70
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	2.8	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数